

刊行に寄せて



文部科学大臣

川端 達夫

文部科学省では、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化における施策の新しい動きについて、広く国民の皆様にご紹介するために、「文部科学白書」を刊行しています。

天然資源に恵まれない我が国においては、人材こそが国の宝であり、教育はこの国の将来を左右する重要課題です。また、人類社会が抱える様々な課題を解決し、我々の安全な生活や経済成長を実現していく上で、科学技術は大きな役割を有しています。さらに、人々が人生を充実させ、地域の活性化を図る上で、文化・スポーツの果たす役割はますます大きなものとなっています。

しかし、我が国は今、長引く経済の低迷や国際的な競争の激化とともに、少子高齢化が世界に類を見ない速さで進むなど、社会の形が大きく変わりつつあります。

このような中、私は就任以来、教育や文化、スポーツ、科学技術の振興により「人と知恵」をはぐくむことを国政の中心に据え、未来を切り開く牽引力としなければならないという考えのもと、文部科学行政の充実発展に全力を挙げて取り組んでいます。

平成 21 年度文部科学白書では、特集テーマとして、「我が国の教育水準と教育費」を取り上げました。

子どもの学習意欲や学力の低下、高度な人材の養成における課題など、我が国

の社会の基盤を支え成長を牽引する教育にさまざまな課題が見られます。また、家庭の経済状況の格差が進学機会や学力の格差につながり、それが拡大していくことも懸念されます。

このような課題については、教育活動を支える公的な投資の在り方も大きく関わっているのではないかと、また、各国が教育の質的向上のために教育への投資を充実させる中、我が国の教育投資はどうあるべきかという問題意識から、今回の白書では、教育費を切り口に、国際比較も行いながら、教育の現状と課題を分析しました。

また、教育費の問題については、高等学校における家庭の経済的負担を軽減するため、本年より公立高校無償化・高等学校等就学支援金が新たにスタートしました。本制度の円滑かつ確実な実施のためには、国民の皆様にも本制度の趣旨や概要などについて理解を深めていただくことが不可欠であるため、特集で取り上げています。

文部科学行政の推進のためには、国民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。本書が幅広く活用され、皆様の理解を深めていただく一助となれば幸いです。